

## 時事論説講読

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	井上 裕美子	指定なし	火曜日 2時間目	指定なし	通年 春学期

## 講座到達目標

### 到達目標

論理性、抽象性のある文章日本語の文章を、読み切ることができる。  
筆者の主張を理解することができる。

## その他

教科書	受講生のレベルを見て決定します
参考文献	授業内で適宜紹介します
学習内容 授業形態	時事論説文に多く使われる言葉の確認 内容確認 内容解説 精読
留意点	辞書は必ず用意してください
授業時間以外の学習	予習として知らない言葉は必ず調べておいてください。
評価方法	出席率、提出物、授業への積極的参加、試験結果を総合して評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	授業の概要と導入 レベルチェック
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	演習
8講目	中間試験
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	演習
15講目	期末試験 解説と今後の課題

## 時事論説講読

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	馬場 美智子	指定なし	火曜日 2時間目	指定なし	通年 春学期

## 講座到達目標

### 到達目標

- ・様々な分野に関して書かれた文章を読むことを通して、語彙や表現を理解する。
- ・主に精読を中心に行い、的確に必要な情報や作者の主張を読み取れるようにする。
- ・JLPTN2レベルの読解問題に取り組みめるようになる。

## その他

教科書	授業内で指示します。
参考文献	授業内で適宜紹介します。
学習内容 授業形態	日本語で書かれた文章を様々なアプローチで読んでいきます。 ・黙読 音読 ・語彙、文法解説 内容理解 内容確認 ・精読、速読
留意点	「じっくり最初から最後まで読む」ことが大切です。
授業時間以外の学習	予習として、授業で読む予定の本文の分からない言葉について各自調べておいてください。
評価方法	出席率、課題提出率、筆記試験、授業中の参加態度を総合して評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	レベルチェック、オリエンテーション
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	中間試験
8講目	演習
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	期末試験
15講目	試験解説、フィードバック

## 日本近代文学講読

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	神田 あずみ	指定なし	金曜日 3時間目	指定なし	通年 春学期

### 講座到達目標

到達目標
<ul style="list-style-type: none"><li>・読むことに慣れる。</li><li>・わからない言葉があっても、前後の文や、全体の流れから推測できるようになる。</li><li>・文法、語彙、表現について読解文の文脈の中で学ぶ。</li><li>・読むことを通して、語彙、表現を増やす。わかるだけでなく、使えるようにする。</li><li>・説明文、論説文、随筆、小説、対談など、様々なジャンルの生の読み物に触れる。</li><li>・読み物から日本の文化、日本人の習慣、考え方を知る。</li></ul>

### その他

教科書	『N1・N2試験に出る読解40日完成』基本トレーニング 『読解厳選テーマ10 中上級』凡人社
参考文献	授業の中で紹介します。
学習内容 授業形態	JLPT形式の読解問題を解いていく。 記述式の解答形式にも慣れる。
留意点	授業中は日本語だけで話してください。辞書を持って来てください。
授業時間以外の学習	予習は言葉しらべです。語彙をたくさん知っていれば知っているほど、読解はやさしくなります。興味があれば、どんな本でもいいので、どんどん読むようにしてください。わからないことがあったら授業で質問してください。
評価方法	平常点30% 漢字読みテスト30% 中間・期末試験40%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	オリエンテーション レベルチェック
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	演習
8講目	中間試験
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	期末試験
15講目	期末試験FB

## 日本近代文学講読

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	馬場 美智子	指定なし	金曜日 3時間目	指定なし	通年 春学期

### 講座到達目標

到達目標
辞書を使いながら読みたいを思った文学作品を最後まで自分の力で読める力を養成します。

### その他

教科書	授業内で指示します。
参考文献	授業内で紹介する近代文学作品
学習内容 授業形態	教科書の読解問題に取り組み、短文の読み方、中文の読み方、長文の取り組み方を身に付けます。読解の方法が理解できたら、実際に文学作品を読んでいきます。主に精読の手法で進めますが、作品によっては作品全体の構成を理解するために速読にも挑戦してみます。できるだけ多くの文章に触れ、多くの作者のスタイルを読むことを経験していきたいと考えています。読解の様々な手法、この授業では精読、速読、そして多読という手法を身に付けます。
留意点	必ず辞書を用意してください
授業時間以外の学習	日本語で書かれた比較的平易な小説を自分で選んで一冊を最後まで読んでみてください。自分で選べない場合は紹介します。
評価方法	出席率、宿題の提出、授業中の取り組み、試験結果を総合して評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	オリエンテーション
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	中間試験
8講目	演習
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	期末試験
15講目	試験解説、フィードバック

## 日本語 語彙

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	神田 あずみ	指定なし	水曜日 1時間目	指定なし	通年 春学期

## 講座到達目標

### 到達目標

N1レベルの語彙をあらたに300語覚える。  
覚えた語彙は知識だけに留まらず、使用語彙として、日常の適当な場面で使用することができる。

## その他

教科書	日本語総まとめN1語彙
参考文献	
学習内容 授業形態	例文提示 練習問題に取り組み意味確認 短文完成 口頭練習
留意点	語彙は会話、発表、読解、聴解などあらゆる技能に必要です。繰り返しの学習を心がけてください。
授業時間以外の学習	必ず辞書で調べて予習すること
評価方法	授業への取り組み、提出物 40% 復習テスト、 期末テスト60% で評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	授業の概要と導入 レベルチェック
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	演習
8講目	演習
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	演習
15講目	確認テストとその解説及び今後の課題

## 日本語 語彙

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	井上 裕美子	指定なし	水曜日 1時間目	指定なし	通年 春学期

## 講座到達目標

到達目標
N2レベルの語彙をあらたに500語覚える。 覚えた語彙は知識だけに留まらず、使用語彙として、日常の適当な場面で使用することができる。

## その他

教科書	総まとめ改訂版N2語彙(予定)
参考文献	授業の中で紹介します。
学習内容 授業形態	発音 例文提示 練習問題に取り組み意味確認 小テスト 短文完成 口頭練習
留意点	授業中は日本語だけで話してください。辞書を持って来てください。
授業時間以外の学習	語彙は会話、発表、読解、聴解などあらゆる技能に必要です。繰り返しの学習を心がけてください。
評価方法	授業への積極的参加、提出物、小テスト、期末テストを総合して評価します
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	演習
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	演習
8講目	演習
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	演習
15講目	期末テスト 解説と今後の課題

## 日本語 漢字語彙

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	井上 裕美子	指定なし	火曜日 3時間目	指定なし	通年 春学期

### 講座到達目標

#### 到達目標

N2レベルの漢字で分からないものは、読みと意味を確実に覚える。N1レベルの漢字の読みと意味を学習しする。初見の漢字も1字1字の漢字から熟語の意味を類推することができる。音読み訓読みのパターンを身に付け、初見の漢字も読めるようになる。

### その他

教科書	受講生のレベルを見て決定します
参考文献	新聞記事や雑誌記事などを適宜紹介します
学習内容 授業形態	漢字の音読、書き取り、意味の理解を幅広い教材を使って行います。
留意点	正しい読みを、発音とともに覚えてください
授業時間以外の学習	繰り返し積み上げていく努力が必要です。必ず毎日、計画的に練習してください。
評価方法	授業への積極的参加、提出物、単元テスト、期末試験の結果を総合して評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	授業の概要と導入 レベルチェック
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	演習
8講目	演習
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	演習
15講目	期末テスト 解説と今後の課題

## 日本語 漢字語彙

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	馬場 美智子	指定なし	火曜日 3時間目	指定なし	通年 春学期

### 講座到達目標

到達目標
初級初中級N3レベルまでの漢字の読み書きができる。 中級N2レベルの漢字、熟語、例文が読める。N2レベルの読解に運用できる。

### その他

教科書	授業内で指示します。
参考文献	授業内で紹介します。
学習内容 授業形態	テキストの漢字の読み、発音、意味確認 問題に取り組み、解答確認 表記指導
留意点	丁寧に書くこと
授業時間以外の学習	繰り返し積み上げることが大切です。各自無理のない計画を立てて、毎日練習すること
評価方法	出席率、課題提出率、試験の成績、授業中の態度を総合して評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	授業の概要と導入 レベルチェック
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	中間試験
8講目	演習
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	期末試験
15講目	試験のフィードバック

## 日本語 作文

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	馬場 美智子	指定なし	金曜日 2時間目	指定なし	通年 春学期

### 講座到達目標

到達目標
書く目的に応じた日本語の文章を書けるようになることが目標です。

### その他

教科書	授業内で指示します。
参考文献	授業内で指示します。
学習内容 授業形態	日本語で文章を書く練習をします。 メモを取る、短文を書く、簡潔に書く、順番に書く、論理的に書く、説得力を持たせて書くなど、一言で「書く」と言っても様々な書き方があります。目的に応じた「書く力」を養成します。
留意点	辞書に頼らずどこまで書けるかに挑戦することを心がけてください。
授業時間以外の学習	授業中に書き終わらなかった作文は宿題になります。翌週の月曜日に必ず提出してください。
評価方法	出席率、課題提出率、試験の成績、授業中の態度を総合して評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	オリエンテーション
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	演習
8講目	演習
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	演習
15講目	試験

## 日本語 作文

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	神田 あずみ	指定なし	金曜日 2時間目	指定なし	通年 春学期

## 講座到達目標

到達目標
生活の中で出会う「書く」場面で、わからない言葉は辞書を使えば書ける。自分の意見を段落に分けて400字以上の文が書ける。

## その他

教科書	
参考文献	
学習内容 授業形態	教科書に沿って進めます。毎回の課題についてクラスでディスカッションを行い、到達目標を確認してから取り組みます。短文練習、身近なテーマについて書く練習から始め、最終的には新聞のデータをもとに事象の原因を考え、未来の予測を立てて、自分の主張を述べるような作文にもチャレンジします。詩や短歌、俳句を楽しんで書く経験も取り入れます。
留意点	辞書は必ず用意してください。
授業時間以外の学習	授業内で書き終わらなかった作文は宿題になります。翌日必ず提出してください。
評価方法	出席率、宿題提出、授業中の取り組み、試験結果を総合して評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	授業概要説明、自己紹介を書いてみる
2講目	情報を文章にする 表現の練習
3講目	情報を文章にする 表現の練習
4講目	情報を文章にする 表現の練習
5講目	状況を説明し、意見を述べる 表現の練習
6講目	状況を説明し、意見を述べる 表現の練習
7講目	状況を説明し、意見を述べる 表現の練習
8講目	自分の立場を示し、根拠とともに意見を述べる
9講目	自分の立場を示し、根拠とともに意見を述べる
10講目	自分の立場を示し、根拠とともに意見を述べる
11講目	テーマに沿った作文
12講目	テーマに沿った作文
13講目	テーマに沿った作文
14講目	期末試験
15講目	期末試験FB、まとめ

## 日本語 文法基礎

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	馬場 美智子	指定なし	月曜日 3時間目	指定なし	通年 春学期

### 講座到達目標

#### 到達目標

日本語能力試験N1レベルの文法、文型について、意味、使われている場面の理解を確実なものにする。  
自身の体験や意見を学んだ文法を使って表現できることを目標とする。

### その他

教科書	授業内で指示します
参考文献	授業内で指示します。
学習内容 授業形態	文法の提示、解説 例文作成 聞き取り
留意点	知識だけでなく、積極的に例文づくりを行ってください。
授業時間以外の学習	一つの文型につき、一つの例文を暗記しましょう。
評価方法	出席率
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	オリエンテーション
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	中間試験
8講目	演習
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	期末試験
15講目	フィードバック

## 日本語 文法基礎

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	神田 あずみ	指定なし	月曜日 3時間目	指定なし	通年 春学期

### 講座到達目標

到達目標
<ul style="list-style-type: none"><li>・春学期はまずN3レベルの復習を行い、正しく使いこなせるようにする。</li><li>・N2レベルの文法については理解を深め、選択肢があれば正しいものを選べるようにする。徐々に読んだり聞いたりできるものから、書いたり発話したり、自分で文法を使えるようにする。</li><li>・似ている文型の意味や使い分けを学び、場面に応じた正しい使い方を身に付ける。</li></ul>

### その他

教科書	日本語総まとめN2文法
参考文献	授業内で適宜紹介します。
学習内容 授業形態	必修クラス
留意点	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎回、辞書を持参してください。持っていない人は買ってください。いい辞書が見つからない時は、相談してください。遅刻、欠席のないようにしてください。</li><li>・授業中は日本語のみで話してください。</li><li>・授業外でも、生の日本語に多く触れるよう心がけてください。 授業の内容、進度に関して、クラスのレベルやニーズに合わせて変更することがあります。</li></ul>
授業時間以外の学習	予習として、授業で読む予定の本文の分からない言葉について各自調べておいてください。ノートを作るといいでしょう。調べてもわからないものについては授業で質問してください。
評価方法	・提出物 30%・中間・期末試験 40%・平常点 30%(参加度,積極性,授業態度)
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	オリエンテーション N3文法の復習
2講目	N3文法の復習
3講目	N3文法の復習
4講目	N3文法の復習
5講目	N3文法の復習
6講目	N3文法の復習
7講目	N3文法の復習
8講目	中間試験
9講目	N2文法1
10講目	N2文法2
11講目	N2文法3
12講目	N2文法4
13講目	N2文法5
14講目	期末試験
15講目	期末試験FB

## 日本語 文法応用

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	馬場 美智子	指定なし	月曜日 4時間目	指定なし	通年 春学期

### 講座到達目標

#### 到達目標

日本語能力試験N1レベルの文法、文型を理解し、それが使われている、読解、聴解に運用できる。  
似ている文法との違いがわかり、学んだ文法を使って、適当な場面で、話すことができる。

### その他

教科書	授業内で指示します。
参考文献	授業内で指示します。
学習内容 授業形態	例文提示 解説 練習問題、実践問題に取り組み、解答解説 文法を使って話す。
留意点	頭で理解するだけで終わらず、使えることを目指してください。
授業時間以外の学習	間違った問題は必ず復習すること
評価方法	出席率、宿題の提出、授業中の取り組み、試験結果を総合して評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	オリエンテーション
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	中間試験
8講目	演習
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	期末試験
15講目	フィードバック

## 日本語 文法応用

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	神田 あずみ	指定なし	月曜日 4時間目	指定なし	通年 春学期

### 講座到達目標

到達目標
<ul style="list-style-type: none"><li>・ N3の文法について、間違いやすい初歩的な日本語の間違いを意識し、それに注意を払って書いたり話したりできる。</li><li>・ N2文法を正確に理解し、文法を使って話したり、書いたりできるようになることを目指す。</li><li>・ 学んだ文法・文型を生かして豊かな表現ができるようになる。</li></ul>

### その他

教科書	日本語総まとめN2文法
参考文献	授業内で紹介します。
学習内容 授業形態	演習形式
留意点	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 毎回、辞書を持参してください。持っていない人は買ってください。いい辞書が見つからない時は、相談してください。遅刻、欠席のないようにしてください。</li><li>・ 授業中は日本語のみで話してください。</li><li>・ 授業外でも、生の日本語に多く触れるよう心がけてください。 授業の内容、進度に関して、クラスのレベルやニーズに合わせて変更することがあります。</li></ul>
授業時間以外の学習	予習として、テキストの例文に出てくる「語彙・表現」については必ず意味を調べておくこと。調べてもわからないものについては授業で質問してください。
評価方法	・ 提出物 30%・ 中間・ 期末試験 40%・ 平常点 30%(参加度,積極性,授業態度)
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	N3文法の復習
2講目	N3文法の復習
3講目	N3文法の復習
4講目	N3文法の復習
5講目	N3文法の復習
6講目	N3文法の復習
7講目	N3文法の復習
8講目	N2文法1
9講目	N2文法2
10講目	N2文法3
11講目	N2文法4
12講目	N2文法5
13講目	N2文法6
14講目	復習
15講目	期末試験FB

## 日本語 聴解

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	井上 裕美子	指定なし	水曜日 2時間目	指定なし	通年 春学期

## 講座到達目標

到達目標
単音の聞き取り、単語の聞き取り、発音、ディクテーションを繰り返し、日本語の音声の特徴に慣れて聞き取ることができる。日本語能力試験N1レベルの話、会話を聞き、場面状況、話者の関係、また必要な情報を聞き取ることができる。教材として編集されていない自然な日本語を聞き取る能力を身につけ、日常生活に困らないことを到達目標とする。

## その他

教科書	なし プリント教材
参考文献	授業の中で紹介します。
学習内容 授業形態	聴解問題の聞きとり練習 聴解の中に出てきた語彙・表現の確認、解説
留意点	辞書を持って来てください。
授業時間以外の学習	聴解力の養成には語彙を増やすことが不可欠です。言葉を知らなければ聞くことはできません。毎回、聴解教材の中に使われている語彙をリストにして覚えること
評価方法	授業への積極的参加、課題提出、小テスト、期末テスト、を総合して評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	授業の概要と導入 レベルチェック
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	演習
8講目	演習
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	演習
15講目	期末試験 解説と今後の課題

## 日本語 聴解

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	神田 あずみ	指定なし	水曜日 2時間目	指定なし	通年 春学期

## 講座到達目標

到達目標
単音の聞き取り、単語の聞き取り、発音、ディクテーションを繰り返し、日本語の音声の特徴に慣れて聞き取ることができる。日本語能力試験N2レベルの話、会話を聞き、場面状況、話者の関係、また必要な情報を聞き取ることができる。教材として編集されていない自然な日本語を聞き取る能力を身につけ、日常生活に困らないことを到達目標とする。

## その他

教科書	プリント教材
参考文献	授業内で指示します。
学習内容 授業形態	単音、単語の聞き取り、ディクテーション、発音 日本語能力試験聴解問題の実施 日常会話の聞き取り
留意点	集中力が問われる授業です。
授業時間以外の学習	聴解力の養成には語彙を増やすことが不可欠です。言葉を知らなければ聞くことはできません。毎回、聴解教材の中に使われている語彙をリストにして覚えること。
評価方法	授業への取り組み、課題提出、小テスト70% 試験30%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	講義概要と導入 レベルチェック
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	演習
8講目	演習
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	演習
15講目	確認テストとその解説及び今後の課題

## 日本語 表現

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	馬場 美智子	指定なし	火曜日 4時間目	指定なし	通年 春学期

## 講座到達目標

到達目標
正確に簡潔に効果的に話すことを目標とします。

## その他

教科書	授業内で適宜指示します。
参考文献	
学習内容 授業形態	定型表現を理解し話せるようになる練習をします。自分の伝えたい事柄を正確に効果的に伝える練習をします。決められたテーマについての自分の考えを正しく伝える練習をします。相手の発話を受けて会話をスムーズに続ける練習をします。
留意点	積極的に話してください。同時に人の話は最後まで聞きましょう。
授業時間以外の学習	
評価方法	出席率、宿題の提出、授業中の取り組み、試験結果を総合して評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	授業の概要説明
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	演習
8講目	演習
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	期末試験
15講目	期末試験FB、まとめ

## 日本語 表現

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻語学群	岩堀 容子	指定なし	火曜日 4時間目	指定なし	通年 春学期

## 講座到達目標

### 到達目標

発音、流暢さに関する事、口頭表現のスタイルに関する事、発話内容に関する事、以上大きく3点に関し、個々人が現在の能力と目指すレベルを自覚し、自発的に個々の能力向上に向けて取り組む姿勢を養う。同時に一人一人の発音の課題について適宜発音指導を行う。到達目標は個々の目的に応じた的確な構文と語彙を選択し相手に自分の意図を正確に伝えることができるようになることとする。

具体的には入試面接場面、就職面接場面で必要な口頭表現力を養成することを目標とする。

## その他

教科書	後ほど指示します。
参考文献	授業内で指示します。
学習内容 授業形態	講義、口頭練習
留意点	授業中、ほとんどの時間が話す練習になります。積極的に授業に参加してください。
授業時間以外の学習	
評価方法	出席回数30% 授業中の態度、課題の暗記30% 試験の結果、弁論大会出場40%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	講義概要の説明
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	演習
8講目	演習
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	演習
15講目	学期末試験

## 日本の社会

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻教養群	馬場 美智子	指定なし	金曜日 4時間目	指定なし	通年 春学期

## 講座到達目標

到達目標
日本社会の問題について理解し、その概要と自分の意見を表現できるようになる。

## その他

教科書	授業内で指示します
参考文献	授業内で適宜紹介します
学習内容 授業形態	
留意点	日本社会に興味をもって毎日ニュースを見ましょう
授業時間以外の学習	
評価方法	出席率、宿題の提出、授業中の取り組み、試験結果を総合して評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	授業の概要説明、時事概説
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	中間テスト
8講目	演習
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	期末テスト
15講目	期末試験FB、まとめ

## 日本のホスピタリティとマナー

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻教養群	高橋 尚美	指定なし	木曜日 4時間目	指定なし	通年 春学期

### 講座到達目標

到達目標
日本のビジネスマナーや習慣を理解し、実践できるようになる。 日本の伝統の布である風呂敷を例に、日本のホスピタリティとマナーの基本を理解できるようになる。

### その他

教科書	プリント教材を配布する。
参考文献	『しごとの日本語 ビジネスマナー編』 釜淵優子(著) アルク 2,200円(税込) 他にも、授業内で適宜紹介する。
学習内容 授業形態	日本のビジネスマナーや習慣をいくつか取り上げ、実際にできるように練習する。また、日本の伝統の布である風呂敷について学び、実際に使えるように練習する。ペアワークやグループワークも取り入れる。
留意点	
授業時間以外の学習	京都にいと、伝統的な行事や文物に触れる機会が多くある。可能な範囲で参加したり見学したりして、そこに共通する日本のホスピタリティとマナーについて考えてほしい。
評価方法	出席状況、授業態度、授業中に出す課題、中間試験、学期末試験を、総合して評価する。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	イントロダクション
2講目	日本の一般マナー
3講目	日本の一般マナー
4講目	日本のビジネスマナー
5講目	日本のビジネスマナー
6講目	日本のビジネスマナー
7講目	中間試験
8講目	風呂敷 包む文化
9講目	風呂敷 包み方の基本
10講目	風呂敷 包み方の応用
11講目	風呂敷 慶事と弔事
12講目	日本のビジネスマナー
13講目	日本のビジネスマナー
14講目	学期末試験
15講目	復習とまとめ

## Career Studies

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 一般教養科目群	岩堀 容子	1年生 First Year	木曜日 3時間目	指定なし	通年 春学期

### 講座到達目標

到達目標
留学生に関する連絡、進路指導、その他の活動を行います

### その他

教科書	なし
参考文献	
学習内容 授業形態	講義、全員での活動
留意点	毎週大切な連絡があるので、必ず出席してください。
授業時間以外の学習	
評価方法	CSは認定科目です。出席率と参加態度を見て認定するか否かを判断します。出席率が80%以下の場合は認定できません。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1 講目	授業の概要と導入
2 講目	留学生に関する連絡、進路指導、その他の活動
3 講目	留学生に関する連絡、進路指導、その他の活動
4 講目	留学生に関する連絡、進路指導、その他の活動
5 講目	留学生に関する連絡、進路指導、その他の活動
6 講目	留学生に関する連絡、進路指導、その他の活動
7 講目	留学生に関する連絡、進路指導、その他の活動
8 講目	留学生に関する連絡、進路指導、その他の活動
9 講目	留学生に関する連絡、進路指導、その他の活動
10 講目	留学生に関する連絡、進路指導、その他の活動
11 講目	留学生に関する連絡、進路指導、その他の活動
12 講目	留学生に関する連絡、進路指導、その他の活動
13 講目	留学生に関する連絡、進路指導、その他の活動
14 講目	留学生に関する連絡、進路指導、その他の活動
15 講目	留学生に関する連絡、進路指導、その他の活動

# コンピュータリテラシ

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) マルチメディア科目群	山上 礼子	1年生 First Year	水曜日 3時間目	指定なし	通年 春学期

## 講座到達目標

### 到達目標

本講座は、(旧)日タイ連の問題集の作成編集や複数の専門学校教科書作成および各種PC検定の検定委員の実務経験を持つ教員が担当しています。Windowsの基本操作と、WordおよびPowerPointの基本操作技術を身につける。・ブライントタッチでキーボードの操作ができるようになること

- ・基本操作をショートカットキーで操作できるようになること
- ・社会人向きの検定試験基礎レベル以上の操作ができるようになること

## その他

教科書	実教出版:30時間でマスター Word 2019(Windows10対応)
参考文献	
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)演習形式。 ・ブラウザの使用方法 ・Office アプリの使用方法 ・上記操作におけるショートカットキー 等  パソコン操作による演習になりますので、次回の授業までにしっかり復習し作業できるように練習をしておいてください。 また、専門用語を忘れないように覚えましょう。
留意点	【実技/演習授業のため、遅刻は10分まで10分を超えると欠席扱いとなります】遅刻、欠席を避けてください。課題は評価に直接関係していますので、必ず期限内に提出してください。分かりにくかったところや忘れてしまった方法などは、先生に必ず確認しメモを取るよう工夫してください。授業内容については、クラスの進度により前後することがあります。教室後ろの掲示板的のメモまたはTeamsでの伝言を確認するようにしてください。
授業時間以外の学習	授業中に終わらなかった課題などは、提出期限に間に合うように授業時間外に学内PCや自宅で作業してください。初めての操作などは忘れないように復習するようお願いいたします。
評価方法	提出物:70点、実技テスト:20点、授業内容への取組:10点となり各点数総合評価です。
実務経験と 科目の関連	この教科を履修することにより、社会人向きの各種検定試験の基礎級までの実技試験内容が網羅されています。また、基礎級以上の検定級を受験希望される方でも知識科目とあ少しの実務作業を覚えることにより上級試験も受験可能なレベルまで学習することができます。

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	講義内容説明・教室使用注意事項・テキストについて・学生サイトおよびwebメールログイン方法と画面の見方を知る。学内メールの設定をする(ビジネスメールの基本の土曜講座の案内)室使用注意事項・テキストについて・学生サイトおよびwebメールログイン方法と画面の見方を知る。学内メールの設定をします。
2講目	Teams の使用についての説明(学内サーバー内のデータとTeams ないデータ・提出物場所の違いなどの説明と提出の練習)
3講目	学内メールを使用してビジネスメールの送受信ができるように練習します。
4講目	日本語入力 ・Chromeのオプション設定・便利な使い方・プリントスクリーン・印刷について学びます
5講目	日本語入力 ・Windowsの基本操作・キーボード名称・記号の名称・Word画面名称・IMEツールバー設定を学びます。
6講目	日本語入力 ・Word ひらがな・カタカナ・アルファベット・文字削除・数字・記号・漢字変換・変換訂正を学びます。(教科書の問題で練習を行います)
7講目	日本語入力 ・Word 特殊記号・数式の作成・IMEパッド・ページ設定・カーソルの動き・範囲指定・ヘッダーフッターを学びます。(教科書の問題で練習を行い印刷を試みる)
8講目	日本語入力 ・Word ビジネス文書の形式(構成要素)を学習します。書式設定(フォント・サイズ・太字・斜体・下線・色・両端揃え・中央・右・均等割付・拡大など)を学ぶ。(サーバー内の教材データを使用して編集作業の練習)
9講目	Word 書式設定(組み文字・蛍光ペン・インデント・箇条書き・段落番号など)を学ぶ。(サーバー内の教材データを使用して編集作業の練習を行う)
10講目	Word 演習問題を使用して Word の操作練習を行います。
11講目	Word 図形描画・ワードアート・図・スマートアート(挿入と編集)を学習します。
12講目	Word 図形の作成と編集作業を行います。(サーバー内の教材データを使用して編集作業と新規での作成作業の練習を行います)
13講目	Word 学習した操作を使用して課題を作成、編集します。
14講目	春学期の操作確認テスト(学習成果の確認をするためのテストです。学習してきた内容が作業できるかの確認のため教科書以外にネットやスマホも活用しましょう。採点後のデータおよび解答例のデータは、各自持ち帰ることができます。間違っている箇所があった場合は、どうして間違っていたのか確認しましょう。
15講目	テストについての質問受付。Word の提出課題の最終質問受付。(わからない操作を確認し課題を仕上げ提出してしまいましょう)

# コンピュータリテラシ

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) マルチメディア科目群	山上 礼子	指定なし	水曜日 4時間目	指定なし	通年 春学期

## 講座到達目標

到達目標
PowerPointの基本操作を覚えて課題作品を発表できるまでになりましょう。 (作成した作品を日本語で皆に分かりやすいように説明できるように準備と練習をしましょう) Excelを使用し、基本の操作と基本の関数を身につけます。 (関数式などはノートや教科書にわかりやすいように書き込んで覚えましょう)

## その他

教科書	30時間でマスター Excel2019 (Windows10対応)
参考文献	
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)演習形式。 パソコン操作による PowerPoint および Excel のアプリでの演習になります。 毎回、次の授業までにしっかり復習して学習した作業ができるように練習をしておきましょう。 また、コンピューターの専門用語を忘れないように覚えるように努力してください。
留意点	【実技/演習授業のため、遅刻は10分まで10分を超えると欠席扱いとなります】遅刻、欠席を避けてください。課題は評価に直接関係していますので、必ず期限内に提出してください。分かりにくかったところや忘れてしまった方法などは、先生に必ず確認しメモを取るよう工夫してください。授業内容については、クラスの進度により前後することがあります。教室後ろの掲示板や Teams の伝言を確認するようにしてください。
授業時間以外の学習	授業時間内に終わることができなかった練習問題や課題は時間外に終わらせてください。わからないところがあった場合は、次の授業時間内にデータを開いて先生に確認するようにしてください。
評価方法	提出物:60点、授業への取組:40点(操作確認問題などは授業への取組の中に点数が含まれています) 総合評価になります。
実務経験と 科目の関連	各種検定試験の3級程度の実技科目の操作は網羅されているため、受験希望者は知識科目などを勉強すれば日本語でExcelの検定試験を受けることができるレベルまで勉強できます。

各講座内容については次頁に表記

## 各講座内容

1講目	PowerPoint アプリを使用して操作方法を覚えていきます。
2講目	PowerPoint アプリを使用して操作方法を覚えていきます。
3講目	PowerPoint アプリを使用して操作方法を覚えていきます。
4講目	PowerPoint アプリを使用して操作方法を覚えていきます。
5講目	PowerPoint アプリを使用して操作方法を覚えていきます。
6講目	PowerPoint 課題を発表します。各自が決めたタイトルに合わせて発表内容を決めてから、素材を集める・動画を作成するなど資料の準備をしましょう。
7講目	PowerPoint アプリを使って、発表課題の条件をクリアできるように作品を作りましょう。
8講目	PowerPoint 発表課題を仕上げ、発表する内容に合わせて口頭説明する練習やメモの準備をしましょう。
9講目	PowerPoint 発表 発表者以外は、発表内容を確認し条件に合わせて作成できていたか審査してください。すべて提出していただきます。
10講目	PowerPoint 発表 発表者以外は、発表内容を確認し条件に合わせて作成できていたか審査してください。すべて提出していただきます。
11講目	Excel Excel画面構成と名称・カーソル移動・入力方法・オートフィル・削除・シート名・シートの操作を学ぶ(実際に画面で操作をしながら覚えていきますので、教科書を確認しながらわかりにくいところはメモを取るようにしましょう)
12講目	Excel SUM・式・AVERAGE・オートフィル・移動・コピー・挿入・削除などの方法を学ぶ・教科書練習問題の入力
13講目	Excel 挿入削除移動コピーの復習・表示方法・セルの編集作業・行列の高さと幅の変更などを学ぶ・ファイル内データを使用して練習する(実習5&6)
14講目	Excel 表示形式の変更・文字位置指定・セルの結合・均等割付・縦書きと横書き・文字の折り返し・日付と時刻(TODAY・NOW)を学ぶ・教科書練習問題を一緒にやってみましょう(実習8&10)・ファイル内のデータを使用して練習する
15講目	Excel 相対参照・絶対参照・複合参照・MAX・MINなどをファイル内のデータを使用して練習する